

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2 東書	第1学年 第2学年 第3学年	英語 002-72 英語 002-82 英語 002-92	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標、内容 等	○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～身近な話題についてのスピーチを聞き取ったり、コマーシャルを聞き、必要な情報を聞き取ったりする活動 第2学年～機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ったり、インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ったりする活動 第3学年～ディスカッションを聞き、必要な情報を聞き取ったり、世界の食糧問題に関する講話を聞き、話し手の伝えたい内容を捉えたりする活動				
	○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ブログやインタビュー記事の概要を読み取ったり、物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったりする活動 第2学年～伝記を読んで時系列を整理しながら内容を読み取ったり、議論に向けて賛成・反対の意見を読み取ったりする活動 第3学年～エネルギー問題に関する説明文の概要を捉えたり、論題について意見を読み取ったりする活動				
	○ 「話すこと〔やり取り〕」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～好きな有名人や憧れの人についてたずねたり、病院で症状やこれまでの出来事などを伝えたりする活動 第2学年～路線図を参考に行き方を案内するやり取りをしたり、自分の好みや要望を伝えながら買い物をしたりする活動 第3学年～防災のためにどんな助け合いができるか伝え合ったり、主張とその理由を明確にしながらディベートをしたりする活動				
	○ 「話すこと〔発表〕」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～友達紹介のスピーチをしたり、思い出に残った出来事について発表したりする活動 第2学年～好きな日本食について特徴や好きな理由を発表したり、アンケート調査の結果を発表したりする活動 第3学年～理想のリーダーについて紹介したり、これからの抱負を発表したりする活動				
	○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～自己紹介のポスターを書いたり、好きな有名人や憧れの人を紹介する文章を書いたりする活動 第2学年～学校や学校生活について説明する文章を書いたり、世界遺産の特徴を紹介する文章を書いたりする活動 第3学年～資料から読み取った情報をレポートに書いたり、自分の意見と理由を組み合わせる投稿文を書いたりする活動				
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～単元を見通した学習課題を設定し、ポスターの内容について概要を読み取ることや、協力を呼びかけるポスターを書くことな				

	どを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～単元を見通した学習課題を設定し、世界遺産を紹介する文章を書くことや、世界遺産登録について、自分の立場を明確にして議論することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第3学年～単元を見通した学習課題を設定し、アニメについての記事を読むことや、日本のポップカルチャーの魅力を発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～Unit5において、好きなこととそれ以外に知りたいことをたずね合う活動に取り組み、終末の活動で友達紹介のスピーチをする活動へ展開するなど系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～Unit5において、ユニバーサルデザインを取り入れた工夫についてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で取り入れたいものを伝え合う活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～Unit3において、動物の数が減っている原因について発表する活動に取り組み、終末の活動で絶滅の恐れのある動物の現状を伝える活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～総ユニット数は11ユニット、総ページ数は170ページで、前回より約2%減となっている。 第2学年～総ユニット数は8ユニット、総ページ数は158ページで、前回より約5%減となっている。 第3学年～総ユニット数は7ユニット、総ページ数は158ページで、前回より約2%減となっている。
使用上の配慮等	○ 「Unit Activity（全学年）」では、各パートで表現したことを生かして取り組むことができるゴールの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 英語学習のポイントを系統的に取り上げる「学び方コーナー（全学年）」や、巻末に「CAN-DO リスト（全学年）」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
指導上の配慮等	○ 地域素材については、2年の「Unit2 What is local food?」において札幌ラーメンを題材として、「Unit7 What are World Heritage sites and their problems?」において知床が題材として扱われている。また、3年の「Unit3 How can we save animals?」において、シマフクロウ及びタンチョウの写真が扱われている。 ○ ICTの活用については、デジタルコンテンツで扱った練習問題を活用することによって、生徒が音声や動画、練習問題の豊富なバリエーションの中から自ら選択し、主体的な学びができるとともに、巻末には会話の練習用コンテンツが含まれており、生徒が即興で話せるための工夫がなされている。ICTを活用した言語活動としては、1年生で自分の学校や町で撮影した動画について、実況レポーターになったつもりで説明する活

	動，2年生では，日本での生活についてのアドバイスを1分程度の動画にして発表する活動を位置付ける工夫がなされている。また，生徒が自ら検索できる補充単語集やデジタル用例辞典，デジタルマップや Language Focus コードなどを掲載する配慮がなされている。 ○ 小中連携による指導については，発達段階を考慮し，4つのUnitで言語材料を整理・精選して小学校既習事項の文法的な理解が容易に行える配列となっているとともに，小学校との円滑な接続のために十分な期間をとり，中学校における4技能5領域の力をバランスよく育成する学習へ移行できるよう工夫がなされている。また，1年生の「夏休み特集」においては，小中接続期の学習を登場人物のアニメで整理し，小学校で書き写した日記が自力で書けることを実感できる配慮がなされている。
本市生徒の学習の状況等	○ 即興的なやり取りの力を育むことができるよう，教科書本文に関連付けた，生徒が自由に楽しく気軽に英語を話したくなるようなテーマの Small Talk を設定する工夫がなされている。 ○ 相手意識をもち，目的，場面，状況などに応じて，外国語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語能力を育むことができるよう，「Unit Activity」における意思や情報を伝え合ったり自分の考えを深めてそれを表現につなげたりする活動，「Real Life English」における実生活に生かせる言語の使用場面や働きを踏まえたコミュニケーション活動を設定する工夫がなされている。 ○ 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を育むことができるよう，「Stage Activity」における生徒の興味・関心に広く訴える語彙集や資料，コミュニケーションを図る際の手立てとなる語彙や表現等を提供する巻末の資料集などを掲載する工夫がなされている。
その他	○ デジタル教科書では，生徒がより楽しく学べるよう，動画コンテンツが豊富に示され，音と文字の関係や語句などをクイズ形式で覚えることができることや，文法解説動画により，振り返りの学習を行うことができる工夫がなされている。

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		9 開隆堂	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	英語 009-72 英語 009-82 英語 009-92	Sunshine English Course 1 Sunshine English Course 2 Sunshine English Course 3
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標，内容 等	○ 「聞くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～自己紹介や友達の得意なことなどを聞き取ったり，ラジオのインタビュー音声を聞いて内容を理解したりする活動 第 2 学年～登場人物の会話や電話の内容を聞いたり，天気予報や飛行機のアナウンスなどから必要な情報を聞き取ったりする活動 第 3 学年～海外からの旅行者の対話やラジオ CM を聞いたり，SDGs についてのディスカッションなど社会的な話題について重要な情報を聞き取ったりする活動				
	○ 「読むこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～紹介文など簡単な英文から必要な情報を読み取ったり，物語の内容を読んで理解したりする活動 第 2 学年～外国人に向けたおすすめスポットのチラシから必要な情報を読み取ったり，メールや物語などのおおまかな内容を捉えたりする活動 第 3 学年～ポスターの情報を読み取ったり，プラスチックごみや人物の功績など社会的な話題について読み取ったりする活動				
	○ 「話すこと [やり取り]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～好きなことや普段することなどについてたずねたり，学校案内や買い物などのやり取りをしたりする活動 第 2 学年～誘いたい遊びやイベントについて伝え合ったり，レストランでの注文などのやり取りをしたりする活動 第 3 学年～ポスターセッションで訪問者と説明者でやり取りしたり，レストランに提案する SDGs の取組についてディスカッションしたりする活動				
	○ 「話すこと [発表]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～自分が選んだ写真についてスピーチしたり，マッピングを用いて考えを整理して人物を紹介したりする活動 第 2 学年～自分たちが考えたラーメンの CM を発表したり，スポーツ選手やアーティストなどの人物を紹介したりする活動 第 3 学年～ユニバーサル・デザインの道具や施設を紹介したり，スポーツ大会の工夫やお菓子の特徴などをまとめた内容について発表したりする活動				
	○ 「書くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～クラブ活動の入会届を書いたり，リポーターとして人物の状況が伝わるように説明する文を書いたりする活動 第 2 学年～子どもの頃の思い出などをメモに書いたり，外国人に向けたおすすめスポットのチラシを作ったりする活動 第 3 学年～カウンセラーになって友達の悩みの原因と解決策を書いたり，自分の学校を紹介する英文を書いたりする活動				
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次				

	のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～単元を見通した学習課題を設定し、友達の書いたロボットを紹介する文を読むことや、友達のロボットの紹介を聞いてロボットができることを書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～単元を見通した学習課題を設定し、地域のイベントでの出店について登場人物のアイデアを読み取ることや、自分が売りたいものについて伝え合うことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第3学年～単元を見通した学習課題を設定し、スポーツ大会の工夫についてのスピーチ原稿を読むことや、行いたいスポーツについてのルールを書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。
内容の構成・排列，分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～Program6において、好きな映画やアニメについての会話を読む活動に取り組み、終末の活動で自分が好きな登場人物について書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～Program7において、登場人物が作成した動物についてのクイズを読む活動に取り組み、終末の活動で動物の特徴について伝える活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～Program5において、チョコレートの歴史について読む活動に取り組み、終末の活動で紹介したい日本のお菓子の特徴をまとめ発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～総ユニット数は11ユニット、総ページ数は182ページで、前回より約6%増となっている。 第2学年～総ユニット数は11ユニット、総ページ数は166ページで、前回より約3%減となっている。 第3学年～総ユニット数は8ユニット、総ページ数は166ページで、前回より約1%増となっている。
使用上の配慮等	○ 「Our Project」では、学んだ表現などを使って取り組むことができるまとめの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 本文題材に関連した情報を取り上げる「Coffee Break（全学年）」や、巻末に「CAN-DO リスト（全学年）」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
指導上の配慮等	○ 地域素材については、1年「Power-Up5 インタビューを聞こう」において、札幌及びテレビ塔の画像について、「Step5 発表用メモを活用しよう」において、北海道、函館及びニセコについて扱われている。また、3年の「Program1 Japanese Bentos Are Interesting!」において、北海道新幹線弁当の写真、「Reading1 Meaning of Life」において、オオワシを題材とするとともに、エゾシカ及びヒグマ等の新聞記事

	の写真が扱われている。 ○ ICTの活用については、デジタルコンテンツで扱った音声再生機能や動画コンテンツ、単語練習アプリを利活用することで、生徒が習得に向けて繰り返し練習し、主体的な学びを実現できるよう工夫がなされている。ICTを活用した言語活動としては、1年生で写真を見せながらスピーチをする活動、2年生では写真を見せながらスピーチをする活動とメールの英文を書く活動を設定する工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、1学年では、小学校での既習事項を確認するページである「Get Ready」を13ページ、計6時間分確保するとともに、英語が苦手な生徒にも意欲的に取り組めるようなやさしいアプローチから入れる活動を設定する工夫がなされている。2学年では、小学校での外国語の基礎に立って、一層コミュニケーション能力を伸ばすために、「話すこと」を軸にして4技能5領域の能力を総合的に扱い、思考力、判断力、表現力を育成する構成の工夫がなされている。また、3年間を通して小学校で学んだ単語が欄外に記載する配慮がなされている。
本市生徒の学習の状況等	○ 即興的なやり取りの力を育むことができるよう、各単元に即興でのコミュニケーション活動を行う「Small Talk」、「Action」、「Review & Retell」や「Power-Up」などを設け、本文や単元で学んだ話題を基に、友達と自分の言葉でやり取りすることができるよう工夫がなされている。 ○ 相手意識をもち、目的、場面、状況などに応じて外国語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語能力を育むことができるよう、活動に場面性をもたせ、ペアやグループで行う活動を数多く設定することで、目的と相手を意識したコミュニケーション活動が行えるよう配慮がなされている。 ○ 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を育むことができるよう、学んだりできるようになったりしたことを使って行う統合的なパフォーマンス活動の「Our Project」が位置付けられ、生徒が自ら学習を進められるよう工夫がなされている。また、各単元では、本文の内容を整理して自分の言葉で話す活動や、題材に関連したテーマで行う自己表現活動を設定する配慮がなされている。
その他	○ デジタル教科書では、発音練習に役立てることができるよう、AIによるスピーキングの評価機能が導入されるとともに、色の変更やルビ表示など、全ての生徒が安心して学習に取り組めるような機能を整備する工夫がなされている。

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		15 三省堂	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	英語 015-72 英語 015-82 英語 015-92	NEW CROWN English Series 1 NEW CROWN English Series 2 NEW CROWN English Series 3
取扱内容	○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～夏休みにしたことやラジオから流れる天気予報などを聞き取ったり、映画の予告編などを聞いて、概要を聞き取ったりする活動 第 2 学年～アンケートの調査結果や友達の発表などを聞き取ったり、ニュースなどを聞いて、概要を聞き取ったりする活動 第 3 学年～写真や修学旅行の思い出などについての話を聞き取ったり、電車の運行情報など必要な情報を聞き取ったりする活動				
学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～募集の案内やメールなどから必要や情報を読み取ったり、雑誌の記事などのおおまかな内容を捉えたりする活動 第 2 学年～おすすめの商品の説明や観光マップなどから必要な情報を読み取ったり、メールなどの要点を捉えたりする活動 第 3 学年～投稿文やウェブサイトの記事などのおおまかな内容を捉えたり、物語などの概要を捉えたりする活動				
	○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～相手の得意なことや好きなキャラクターなどについてたずねたり、注文や夏休みにしたいことなどのやり取りをしたりする活動 第 2 学年～お気に入りの本やおすすめの場所など即興で伝え合ったり、無人島に持って行くものなどについて話し合ったりする活動 第 3 学年～好きな映画やおすすめの漫画など即興で伝え合ったり、友達の話を整理し、グループで話し合ったりする活動				
	○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～お気に入りの場所や店を発表したり、してみたいスポーツについて考えや意見を伝えたりする活動 第 2 学年～町の魅力が伝わるように詳しく説明したり、アンケートの調査結果を発表したりする活動 第 3 学年～夢中になっていることを紹介したり、旅行プランや物語の内容について考えや意見を発表したりする活動				
	○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ヒーローを紹介するポスターを書いたり、思い出に残った出来事の絵日記を書いたりする活動 第 2 学年～本や物語を紹介するカードを書いたり、考えや意見が伝わるようにメールの返事を書いたりする活動 第 3 学年～投稿文に対する自分の考えを書いたり、商品の CM の構成や内容を原稿に書いたりする活動				
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。				

	第 1 学年～単元を見通した学習課題を設定し、冬休みにしたことをたずねることや、今年一番思い出に残ったことを書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第 2 学年～単元を見通した学習課題を設定し、地球のためにどんなことをしているかたずねることや、身近な環境問題について書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第 3 学年～単元を見通した学習課題を設定し、聞くと幸せな気持ちになる曲をたずねることや、テーマに沿った曲について投稿記事を書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第 1 学年～Lesson 7 において、週末にしたことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動でやってみたいスポーツについて発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第 2 学年～Lesson 5 において、町でおすすめの場所についてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で町や地域の魅力を発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第 3 学年～Lesson 8 において、中学校卒業後のことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で将来、外国語を使う場面について考えや意見を伝え合う活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第 1 学年～総ユニット数は 9 ユニット、総ページ数は 188 ページで、前回より約 1 % 増となっている。 第 2 学年～総ユニット数は 8 ユニット、総ページ数は 172 ページで、前回より約 3 % 減となっている。 第 3 学年～総ユニット数は 8 ユニット、総ページ数は 172 ページで、前回より約 8 % 減となっている。
使用上の配慮等	○ 「Take Action!」では、リアルな場面や状況で、話したり、聞いたり、読んだりする活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 英語の学習の流れを紹介する「しくみと学び方（全学年）」や、巻末に「Can-Do リスト（全学年）」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすく、書きやすい書体となるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1 人 1 台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
指導上の配慮等	○ 地域素材については、1 年の「Lesson 7 Athletes with Spirit」においてロコソラーレの写真、2 年の「Project 3 好きなもの×観光マップ」において、函館及び五稜郭の写真が扱われている。 ○ I C T の活用については、デジタルコンテンツに単語や文法の練習問題が豊富に示されるとともに、音声やアニメーション、モデル動画や資料映像、発音確認や辞書機能等を利用しながら生徒が主体的な学びを実現できるよう工夫がなされている。I C T を活用した言語活動としては、2 年生で海外から自分の町へ来る旅行者向けに、町や地域の魅力を伝える動画の作成を設定する工夫がなされている。

	○ 小中連携による指導については、1 学年冒頭に小学校で聞いたり、話したりした活動に取り組む Starter を配置するとともに、My Dictionary も配置し、カテゴリー別に提示された語句や表現を振り返りながら、Starter の言語活動の中で活用できるよう工夫がなされている。また、1 学年では、小学校で学んだ語句のうち、全ての中学生が話したり、書いたりできることが望ましい語彙が繰り返し学べるよう扱われるとともに、側注では、中学校の新出語句とは別にマークを付けて提示することで、身に付けるべき語句の重要度を意識できるよう配慮がなされている。
本市生徒の学習の状況等	○ 即興的なやり取りの力を育むことができるよう、Small Talk Plus や Take Action! Talk などにおいて、レッスンのテーマやトピックに関連した身近な話題について即興でやり取りをする言語活動を設定する工夫がなされている。 ○ 相手意識をもち、目的、場面、状況などに応じて外国語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語能力を育むことができるよう、日常生活で出会うような場面や状況の中で、ペアやグループで生徒同士が協力して取り組む活動や会話を続けたり深めたりする活動を設定する工夫がなされている。 ○ 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を育むことができるよう、取り組む生徒の創造性・自主性が発揮される内容や、職業および勤労、環境問題、社会貢献、伝統と文化の尊重、平和の問題など幅広い題材を扱うなどの工夫がなされている。
その他	○ デジタル教科書では、英和辞典が内蔵されて、口の動きを視覚的に確認できる機能が位置付けられるとともに、本文の題材に関する資料映像を豊富に示す工夫がなされている。

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	17 教出		第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	英語 017-72 英語 017-82 英語 017-92	ONE WORLD English Course 1 ONE WORLD English Course 2 ONE WORLD English Course 3
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標，内容 等		○ 「聞くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～昨日したことや天気予報を聞き取ったり，留守番電話のメッセージの概要を捉えたりする活動 第 2 学年～登場人物の会話や発表を聞き取ったり，空港やコンサートなどのアナウンスなどから必要な情報を聞き取ったりする活動 第 3 学年～ニュースの概要や要点を捉えたり，館内アナウンスなどを聞いて概要を推測したりする活動 ○ 「読むこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～物語の概要を捉えたり，ウェブサイトなどから自分に必要な情報を見付けたりする活動 第 2 学年～ポスターなどから必要な情報を読み取ったり，図表を使った説明文を適切に読み取ったりする活動 第 3 学年～伝記や説明文から文章の概要を捉えたり，物語などを読んで順序を理解しながら読み取ったりする活動 ○ 「話すこと [やり取り]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～相手が質問した内容について関連する情報を加えたり，話題を広げた上で相手に質問したりする活動 第 2 学年～飲食店で注文や買い物のやり取りをしたり，環境問題についての対策を話し合ったりする活動 第 3 学年～経験したことをたずね，会話とつなげたり，相手を誘ったり，誘いに応じたりする活動 ○ 「話すこと [発表]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～お気に入りの人物やオリジナルの標識などについて発表したり，自己紹介などを行ったりする活動 第 2 学年～便利なデザインについて紹介したり，行きたい名所を発表したりする活動 第 3 学年～ディベートで賛成派，反対派の立場で発表したり，好きな季節について即興でスピーチをしたりする活動 ○ 「書くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～英語でメールや日記を書いたり，自分の好きなものを SNS の記事にまとめたりする活動 第 2 学年～自分の町を紹介する文章を書いたり，最近新たに知ったことについてのスピーチ原稿を書いたりする活動 第 3 学年～魅力的な商品やサービスについてコマーシャルの原稿をまとめたり，ある議論について理由とともに自分の考えを書いたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～単元を見通した学習課題を設定し，友達と標識クイズのやり取りをすることや，オリジナルの標識の特徴や意味を発表するこ			

	となどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～単元を見通した学習課題を設定し、友達と世界の国や地理クイズについてやり取りすることや、行きたい名所を魅力や理由とともに発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第3学年～単元を見通した学習課題を設定し、宇宙ごみについてのニュースを読むことや、宇宙でどんなことをしたいか話し合うことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～Lesson4において、好きな作家や本について紹介する活動に取り組み、終末の活動で自分の好きなものをSNSに投稿して紹介する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～Lesson9において、日本手話とアメリカ手話の違いについて紹介する活動に取り組み、終末の活動で海外の友達に商品について説明する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～Lesson5において、どのような進学先を選ぶかやり取りする活動に取り組み、終末の活動で「中学生の夢」について発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～総ユニット数は9ユニット、総ページ数は182ページで、前回より約3%増となっている。 第2学年～総ユニット数は9ユニット、総ページ数は182ページで、前回より約2%増となっている。 第3学年～総ユニット数は7ユニット、総ページ数は182ページで、前回より約2%増となっている。
使用上の配慮等	○ 「Project」では、学んだことを生かして取り組むことができるまとめの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 辞書の使い方を紹介する「辞書の使い方（全学年）」や、巻末に「Can-Do 自己チェックリスト（全学年）」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
指導上の配慮等	○ 地域素材については、1年の「Lesson8 Holiday in Hokkaido」において北海道の豊頃町や釧路湿原等について、「Think&Try 活動例」において摩周湖や旭山動物園が題材として扱われるとともに、2年の「Tips for Writing」において旭山動物園について、「Project2 My Dream Travel」においては、アイヌの人々やウポポイが題材として扱われている。また、3年の「Lesson2 The Eagles of Hokkaido」において、オオワシやタンチョウのほか、北海道に縁のある有名人、スポーツ選手等が扱われている。 ○ ICTの活用については、ウェブサイトまなびリンクや学習者用デジタル教科書を通して、デジタルコンテンツで扱った音声や語句練習用のワークシート、活動記入用ワークシートなどを利活用することで、教室での個別学習・協働学習だけでなく、家庭学習でも活用できるとともに、映像教材を参照しながら言語活動ができるよう工夫がなされてい

	る。ICTを活用した言語活動としては、2年生で新聞記事を書く活動と日本文化について動画を作成する活動が示されるとともに、3年生では、生活を便利にするための商品やサービスについてコマーシャル動画にする活動を設定する工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、小学校の外国語活動で行った表現や語彙を音声で振り返り、友達とやり取りをするコミュニケーション活動や書く活動について、Springboard1～6で振り返ることができる工夫がなされている。また、Lesson1～Lesson3 part1までにおいて、小学校で学習した表現や文型、文法事項を再び扱うことで、基本的な表現を定着できるように構成し、学ぶ言語活動を導入する前の振り返りの場として整理する工夫がなされている。
本市生徒の学習の状況等	○ 即興的なやり取りの力を育むことができるよう、「Activities Plus」や「GrammarのLet's Use」,「Project」の流れで、ペアやグループでの即興的なやり取りを行うなど、口頭練習に継続的・段階的に取り組むことができるよう工夫がなされている。 ○ 相手意識をもち、目的、場面、状況などに応じて外国語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語能力を育むことができるよう、実際のコミュニケーションにおける言語材料の意味や適切な使用場面を体験的に理解しながら、生徒自身の興味関心や経験等を発信することができるようThink & Try!, Read & Try!, Task, Project, Useful Expressions等の言語活動が活動例とともに設定されており、活動がしやすくなるよう配慮がなされている。 ○ 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を育むことができるよう、自主的な学習の活用に向け「英語の書き方のルール」や「辞書の使い方」,「効果的な英語学習法」のページを設定するほか、巻末には生徒の自己表現活動を助ける分野別用語集などを掲載し、必要に応じて参照できる構成の工夫がなされている。
その他	○ デジタル教科書では、授業や家庭学習など様々な場面で活用することができるよう、語句や英文の音声を聞いたり、フラッシュカードや文法の解説動画を使って練習したりする機能とともに、自分の発音を改善することができるよう、録音機能も付くほか、ワークシートなどもダウンロードできるように工夫がなされている。

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		38 光村	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	英語 038-72 英語 038-82 英語 038-92	Here We Go! ENGLISH COURSE 1 Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Here We Go! ENGLISH COURSE 3
取 扱 内 容 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 の 目 標 ， 内 容 等	○ 「聞くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動取が取り上げられている。 第 1 学年～自己紹介や夏休みにすることなどを聞き取ったり，学校紹介などを聞いて，おおまかな内容を捉えたりする活動 第 2 学年～友達の話やアナウンスなどから必要な情報を聞き取ったり，ニュースなどを聞いて，おおまかな内容を捉えたりする活動 第 3 学年～講演やおすすめの作品などについての話を聞き，おおまかな内容を捉えたり，話し合いを聞いて話し手の意見などの要点を捉えたりする活動				
	○ 「読むこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～説明文やチャットのやり取りなどから必要な情報を読み取ったり，身近な人を紹介する文章などのおおまかな内容を捉えたりする活動 第 2 学年～グルメの紹介記事やオンラインツアーの案内などから必要な情報を読み取ったり，日記などのおおまかな内容を捉えたりする活動 第 3 学年～人物の手記や伝記からその人物の功績などをおおまかに捉えたり，投稿文や説明文などの要点を捉えたりする活動				
	○ 「話すこと [やり取り]」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～自分と相手の基本的な情報や興味のあることなどについてたずねたり，買い物や注文などのやり取りをしたりする活動 第 2 学年～企画への希望や意見などその場で伝え合ったり，必要だと思うものなどについて意見を整理して伝え合ったりする活動 第 3 学年～おすすめの作品について，詳しい情報を伝え合ったり，聞いた話をまとめ，自分の意見を伝えたりする活動				
	○ 「話すこと [発表]」については，目標を達成することができるよう，次のような学構習活動が取り上げられている。 第 1 学年～春休みの出来事を発表したり，伝えたい情報を整理して人物を紹介したりする活動 第 2 学年～町の名物の魅力が伝わるように詳しく説明したり，イベントを提案したりする活動 第 3 学年～伝記の内容を自分の言葉で説明したり，記事から読み取った事実をもとに，自分の考えを発表したりする活動				
	○ 「書くこと」については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～自己紹介カードに自分の情報を書いたり，友達の素敵どころが伝わる紹介文を書いたりする活動 第 2 学年～出来事や感想などを日記に書いたり，用件や気持ちが伝わるようにメールの返事を書いたりする活動 第 3 学年～説明文の要点に対する自分の考えを書いたり，読んだ手記の感想や考えをレポートに書いたりする活動				
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。				

	第1学年～単元を見通した学習課題を設定し、身近な人を紹介する文章を読むことや、友達の紹介文を書いたりすることなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～単元を見通した学習課題を設定し、友達の話から、企画に必要な情報を聞き取ることや、企画への希望や意見をその場で伝え合うことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第3学年～単元を見通した学習課題を設定し、記事から、質問の答えに必要な情報を読み取ることや、記事から読み取った事実を基に、自分の考えを発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。
内容の構成・排列，分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～Unit 4において、好きなスポーツ選手やミュージシャンについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動でA L Tに他教科の先生を紹介する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～Unit 5において、災害に備えて必要だと思ったことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で防災バッグに必要だと思うものについて発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～Unit 6において、日本のどんな作品を外国の人に紹介したいかやり取りする活動に取り組み、終末の活動でおすすめの作品について詳しい情報を伝え合う活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～総ユニット数は8ユニット、総ページ数は194ページで、前回より約2%増となっている。 第2学年～総ユニット数は8ユニット、総ページ数は194ページで、前回より約2%増となっている。 第3学年～総ユニット数は8ユニット、総ページ数は194ページで、前回より約2%増となっている。
使用上の配慮等	○ 「You Can Do It!」では、学んだことを生かして取り組むことができるまとめの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 英語の学習方法を紹介する「英語の学びガイド（全学年）」や、巻末の「CAN-DO List（全学年）」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
指導上の配慮等	○ 地域素材については、2年「Daily Life Scene 5 電車の乗り換え」において札幌市の地下鉄について、「You Can Do It!」において北海道の名所について、「Let's Read More 2」においてアイヌの人々が題材として扱われている。また、3年「Unit 2 Our School Trip」において、北海道や旭山動物園について扱われている。 ○ I C Tの活用については、言語活動の音声やモデル映像、スピーキングテスト問題など、生徒の興味・関心を高め、学習を深める資料が位置付けられるとともに、巻頭では多様なI C Tの活用方法が紹介されており、生

	徒がデジタルコンテンツや端末を有効に活用し、授業や家庭学習の中で主体的な学びを実現することができるよう工夫がなされている。I C Tを活用した言語活動としては、1年生では教科書の題材にもとづいてパーティーの様子を動画で撮影して伝える活動、自分の学校の魅力を動画で伝える活動、2年生ではメールに返信する活動と、防災バッグに入れるものやボランティア活動、ポスター案について画面を共有しながら発表する活動、3年生では外国語を学ぶことの意義について投稿文を書く活動と世界の課題についてインターネットで調べて書く活動、おすすめの作品について画面を共有しながらペアで伝え合う活動を設定する工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、1年生の巻頭に位置付けられた「Let's be friends!」において、小学校で学習した既習表現や語彙を効率よく振り返り、最後に無理なく自己紹介に取り組むことができるよう工夫がなされている。また、小学校で既習扱いの語彙は、桜のマークを付して3学年を通して記載する配慮がなされている。
本市生徒の学習の状況等	○ 即興的なやり取りの力を育むことができるよう、帯教材「Let's Talk!」では、全学年共通の3つのテーマでの継続的な練習ができるよう工夫がなされている。 ○ 相手意識をもち、目的、場面、状況などに応じて外国語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語能力を育むことができるよう、「Daily Life」や「World Tour」における実社会の場面や素材、巻末付録の英語の学び方ガイドや思考の地図、帯教材の「Active Words」などの学び方の参考となる資料を位置付ける工夫がなされている。 ○ 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を育むことができるよう、自分自身で英語力を高めていくための学びのサイクルの例「見通す→やってみる→振り返る」や、動機付けのためのTipをQ & A形式で掲載する工夫がなされている。
その他	○ デジタル教科書では、本文を読み解いたり音読したりするための機能が充実し、新出文法を解説する動画を掲載するほか、ペンで書き込んだり付箋を貼ったりすることができるよう工夫がなされている。

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		61 啓林館	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	英語 061-72 英語 061-82 英語 061-92	BLUE SKY English Course 1 BLUE SKY English Course 2 BLUE SKY English Course 3
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標、内容 等	○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～自己紹介を聞き取ったり、ビデオメッセージやニュースなどから必要な情報を聞き取ったりする活動 第 2 学年～ラジオの内容を聞き取ったり、空港や機内のアナウンスから必要な情報を聞き取ったりする活動 第 3 学年～環境についてのスピーチを聞いて要点を捉えたり、ラジオ番組を聞いて必要な情報を聞き取ったりする活動				
	○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～学校生活についての会話のおおまかな内容を捉えたり、海洋プラスチックごみについて、要点を捉えたりする活動 第 2 学年～海外の友達からのメールのおおまかな内容を捉えたり、伝記を読んで出来事を整理し、内容を捉えたりする活動 第 3 学年～物語からおおまかな内容を捉えたり、言語についての説明文について要点を捉えたりする活動				
	○ 「話すこと〔やり取り〕」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～教室への行き方をたずねたり説明したり、ファーストフード店での注文などのやり取りをしたりする活動 第 2 学年～目的地までの行き方をたずねたり説明したり、「学校の制服は必要かどうか」についてディスカッションしたりする活動 第 3 学年～苦情を伝えたり、苦情に対して謝ったり、目的地まで、乗り物を使った行き方をたずねたりする活動				
	○ 「話すこと〔発表〕」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～自己紹介や大切なものについてスピーチをしたり、冬休みの思い出を発表したりする活動 第 2 学年～イベントを企画して発表したり、未来にあったらいいと思うものについてプレゼンテーションしたりする活動 第 3 学年～再生可能なエネルギーについてスライドを基に発表したり、スポーツ選手のことを紹介したりする活動				
	○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～学校生活を紹介するメールを書いたり、したことや自分の考えなどを日記に書いたりする活動 第 2 学年～おすすめの旅行先を紹介するメールを書いたり、日本の習慣やマナーを紹介する文章を書いたりする活動 第 3 学年～A L T にインタビューした内容を記事にまとめたり、地域奉仕活動に関する意見文を書いたりする活動				
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～単元を見通した学習課題を設定し、身近な人についての紹介を聞くことや、自分が紹介したいことや身近な人について発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。				

	第2学年～単元を見通した学習課題を設定し、夏休みに行きたい場所についてやり取りすることや、好きな祭りや地域で開催されている祭りについて発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第3学年～単元を見通した学習課題を設定し、気候変動について聞くことや、自分に取り組める気候変動への対応策について発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～Unit 8において、好きな料理について読む活動に取り組み、終末の活動で行きたい場所やそこでしたいことをたずね合う活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 第2学年～Unit 5において、自分が今頑張っていることについて発表する活動に取り組み、終末の活動で将来の夢や達成したい目標について書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 第3学年～Unit 4において、ピクトグラムについての説明を聞く活動に取り組み、終末の活動でユニバーサルデザインの具体例を説明する文章を書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～総ユニット数は10ユニット、総ページ数は166ページで、前回より約5%増となっている。 第2学年～総ユニット数は8ユニット、総ページ数は170ページで、前回より約2%増となっている。 第3学年～総ユニット数は6ユニット、総ページ数は154ページで、前回より約3%増となっている。
使用上の配慮等	○ 「Project」では、学んだことを生かして取り組むことができるまとめの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされてる。 ○ 英語学習のポイントやコツを系統的に取り上げる「英語の学び方（全学年）」や、巻末に「CAN-DO List（全学年）」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされてる。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
指導上の配慮等	○ 地域素材については、1年の「Unit 4 My Brother in Canada」において、高梨沙羅選手の写真、2年の「Unit 2 Festivals in the World」においてよさこいソーラン祭りの写真が扱われている。また、3年の「Unit 1 Trick Your Eyes with Art」において、時計台、札幌ラーメンやシロクマがリスニング題材として、「Unit 3 Living Side by Side」において、様似ダムが題材として扱われている。 ○ ICTの活用については、デジタルコンテンツで扱った音声再生機能や単語練習アプリを活用することで、生徒が習得に向けてくり返し練習し、主体的な学びを実現できるようにする工夫がなされている。ICTを活用した言語活動としては、1年生ではメールを書く活動、2年生では他者の悩みに対するアドバイスや日本の習慣やマナーについてメールで返信を書く活動、3年生ではSNSでの投稿文について自分の意見を書く活動

	を位置付ける工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、小学校の復習「Let's Start」を設定するとともに、欄外には、新出単語とは別に、小学校英語の授業にて音声で慣れ親しんだ単語を3年間通してする工夫がなされている。また、教科書全般に小学校から慣れ親しんでいる英語表現を活用して授業を進めやすい題材を扱う配慮がなされている。
本市生徒の学習の状況等	○ 即興的なやり取りの力を育むことができるよう、「Enjoy Chatting」やメモを基に発表する「Think & Speak」を設定するなどの工夫がなされている。また、「Let's Talk」, 「Let's Listen」, 「Let's Write」などタスク性のある言語活動を設定する工夫がなされている。 ○ 相手意識をもち、目的、場面、状況などに応じて外国語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語能力を育むことができるよう、日常的な話題や社会的な話題に関する言語活動を取り入れた工夫がなされている。 ○ 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を育むことができるよう、生徒にとって身近な題材を使ったコミュニケーション活動や、生徒が言語活動で参考にすることができる「Word Box」を設定するなどの工夫がなされている。
その他	○ デジタル教科書では、単語の学習に向け、フラッシュカードを掲載するとともに、内容理解がしやすいよう、本文ごとに実写映像を位置付けるほか、読み上げやルビ表示などの機能や基本的な書き込み機能を整備する工夫がなされている。また、指導者用では、生徒の学習の進捗や正誤の状況が確認できるよう配慮がなされている。